

教科・科目	国語・現代の国語	単位数	2単位
使用教科書 〃 副教材	高等学校 新編現代の国語（第一学習社） 書きたくなるアシスト常用漢字（数研出版） デジタル版 カラー版新国語便覧（第一学習社）	対象学年  学科・組	1年  農業科・5組

科目の概要と 目標	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。
--------------	---

学習項目・内容 (単元・章・節など)	到達度目標
《オリエンテーション》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の仕方および評価の観点を理解する。</li> <li>・読書の意義や効用について理解する。</li> </ul>
【文章の構成を捉える】 『未知』はいくらでもある 「ナマケモノになる」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提示された筆者の捉え方を理解し、自分の体験に照らして考えを深める。</li> <li>・段落と段落の関係を押さえ、本文の構成を捉える。</li> </ul>
【論理とは何か】 「言葉としてのピクトグラム」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語表現の多様性について考えを深める。</li> <li>・写真を伴う文章を読み、解釈したことをまとめて発表する。</li> </ul>
【論理を捉える】 「言葉の海のオノマトペ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。</li> <li>・言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解する。</li> </ul>
【何を伝えるか】 「十六歳のとき」 「臆病な詩人、街へ出る」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら内容を解釈する。</li> <li>・自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。</li> </ul>
【文章を読み比べる】 ・法律改正に関わる文章を読み 比べる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異なる形式で書かれた複数の文章を読み理解したことをまとめる。</li> <li>・複数の文章から読み取った情報を粘り強く吟味し、表現の仕方を工夫してまとめる。</li> </ul>
【聞いて整理する】 『弱いロボット』の誕生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。</li> <li>・動画と本文を比較し、わかったことを他者に説明する。</li> </ul>
【要旨を把握する】 「人はなぜ仕事をするのか」 「イースター島になぜ森がないのか」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本文で使われている「パス」という言葉の意味を考え、筆者が述べる仕事の本質について考察する。</li> <li>・筆者の仕事観について読み取り、自分の意見や考えを論述する。</li> </ul>
【スピーチをする】 ・話し方の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手・目的・場面に応じた言葉遣いを理解する。</li> <li>・積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表を行う。</li> </ul>

年間指導計画

教科・科目	国語・言語文化		単位数	2単位
使用教科書	高等学校 新編 言語文化（第一学習社）		対象学年	1年
使用副教材	なし		学科・組	農業科・5組
科目の概要と目標	<p>・生涯にわたる社会生活に必要な国語（古典）の知識や技能を身につけるとともに、わが国の伝統文化に対する理解を深める。</p> <p>・論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力や伝え合う力を高め、自分の思いや考えを深めることができるようにする。</p>			
単元	学習内容	到達度目標		
【古文入門】		<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の学習の仕方を理解する。</li> <li>・わが国の伝統文化についての理解を深めるために、古典の世界に親しむことの意義を知る。</li> </ul>		
【古文に親しむ】	「児のそら寝」 「なよ竹のかぐや姫」他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古文特有の仮名遣いと言葉に慣れるとともに、現代に通じる話の面白さや、人間描写の巧みさを知る。</li> <li>・現代まで受け継がれる物語の読み取りを通して、古文の世界への親しみを深める。</li> </ul>		
【物語を楽しむ】	「伊勢物語」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和歌を含む物語の読み取りを通して、古文への興味・関心を広げる。</li> </ul>		
【詩の楽しみ】	「I was born」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代詩の鑑賞の仕方を理解し、作品に込められた世界への思いを読み取る。</li> </ul>		
【随筆を読む】	「徒然草」「方丈記」「枕草子」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当時の人々の生活感覚を反映した文章を読んで、古文に表れたものの見方・考え方の一端に触れる。</li> </ul>		
【和歌と俳諧】	「万葉集」「古今和歌集」「奥の細道」他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べや修辞技法に留意しながら、和歌の鑑賞の仕方を理解する。</li> <li>・俳諧紀行文における散文と句の関係を理解し、作品に表れた作者の思想や心情を捉える。</li> </ul>		
【短歌と俳句】		<ul style="list-style-type: none"> <li>・わが国の伝統文化の一つである俳句の鑑賞の仕方を理解し、近代を代表する俳人の作品を味わう。</li> <li>・作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方・感じ方を豊かにしようとしている。</li> </ul>		
【漢文入門】		<ul style="list-style-type: none"> <li>・わが国の言語文化についての理解を深めるために、古典としての漢文を読むことの意義を知る。</li> <li>・漢文の訓読について、基礎的な知識を身につける。</li> </ul>		
【故事成語】	「五十歩百歩」「矛盾」他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。</li> </ul>		
【小説を読む】	「よだかの星」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品に含まれる寓意を理解し、主人公の置かれた状況から生じる心理や行動をもとに人間の生き方を考える。</li> </ul>		
【漢詩の鑑賞】	「唐詩の世界」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現や技法（押韻や対句）に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々がどのような思いを詩に表したかを読み取る。</li> </ul>		

教科・科目	地理歴史・日本史A		単位数	2単位
使用教科書	新日本史A新訂版（実教出版）		対象学年 学科・組	3年 農業科・5組
使用副教材	新日本史A 新訂版 演習ノート(実教出版)			
科目の概要と目標	<p>1. 日本前近代の歴史をふまえ、近現代史を事実に基づき把握し、歴史の構造とその変化を理解する。</p> <p>2. 歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養う。</p> <p>3. 日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につける。</p>			
単元	学習内容	到達度目標		
私たちの時代と歴史 「パスポートの歴史」	「パスポートの歴史」を参考事例として、現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史的事象と現在との結びつきを考える活動を通して、歴史への関心を高め、歴史を学ぶ意義に気付く。	「パスポートの歴史」を参考事例として、現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史的事象と現在との結びつきを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。		
第1章 近代国家と社会の形成	①欧米諸国のアジア進出、幕末の変動、明治政府の成立と諸改革、自由民権運動と立憲体制の成立、文明開化など、開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程を理解する。	欧米諸国のアジア進出、幕末の変動、明治政府の成立と諸改革、自由民権運動と立憲体制の成立、文明開化など、開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程について、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。		
第2章 二つの戦争と大日本帝国	②条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化、産業革命の進行、社会問題の発生、教育の普及、都市社会の整備などに着目して、19世紀末から20世紀初頭にかけての近代史の展開を理解する。	条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化、産業革命の進行、社会問題の発生、教育の普及、都市社会の整備などに着目して、19世紀末から20世紀初頭にかけての近代史の展開から課題を見だし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。		
第3章 帝国とデモクラシー	③第一次世界大戦とそれが我が国の経済発展に与えた影響、ワシントン体制の成立と日本の対応、大正デモクラシーのはじまり、日本の植民地の動向など、1910年代の近代史の展開を理解する。	第一次世界大戦とそれが我が国の経済発展に与えた影響、ワシントン体制の成立と日本の対応、大正デモクラシーの展開、日本の植民地の動向など、1910年代の近代史の展開から課題を見だし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。		
第4章 デモクラシーの展開と帝国の変容	①大正デモクラシーの展開のなかでの社会主義運動や労働運動などの活発化、政党政治の推移、関東大震災の影響、大衆文化の形成と社会の変化、大陸政策の転換、昭和恐慌への対応など、1920年代の近代史の展開を理解する。	大正デモクラシーの展開のなかでの社会主義運動や労働運動などの活発化、政党政治の推移、関東大震災の影響、大衆文化の形成と社会の変化、大陸政策の転換、昭和恐慌への対応など、1920年代の近代史の展開から課題を見だし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。		
第5章 アジアの戦争と第二次世界大戦	②満州事変、昭和恐慌後の社会と国家主義思想の台頭、日中戦争の長期化と総動員体制の構築、アジア太平洋戦争の展開と戦時下の社会、植民地の動向など、満州事変から敗戦に至るまでの近代史の展開を理解する。	満州事変、昭和恐慌後の社会と国家主義思想の台頭、日中戦争の長期化と総動員体制の構築、アジア太平洋戦争の展開と戦時下の社会、植民地の動向など、満州事変から敗戦に至るまでの近代史の展開から課題を見だし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。		
近代の追究 「東京とアイヌの歴史」	「東京とアイヌの歴史」を参考事例として、近代における政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向が相互に深く関わっているという観点から、産業と生活、国際情勢と国民、地域社会の変化などについて、具体的な歴史的事象と関連させた適切な主題を設定して追究し、表現する。	「東京とアイヌの歴史」を参考事例として、近代における政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向が相互に深く関わっているという観点から、産業と生活、国際情勢と国民、地域社会の変化などについて、具体的な歴史的事象と関連させた適切な主題を設定し、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察しその過程や結果を適切に表現できる。		
第6章 現代日本の源流	国際連合の成立と冷戦の開始、アメリカによる占領政策と諸改革、日本国憲法の制定、朝鮮戦争、日本の独立回復と沖縄、平和運動の展開、50年代の社会と文化など、50年代までの戦後史の展開を理解する。	国際連合の成立と冷戦の開始、アメリカによる占領政策と諸改革、日本国憲法の制定、朝鮮戦争、日本の独立回復と沖縄、平和運動の展開、50年代の社会と文化など、50年代までの戦後史の展開から課題を見だし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。		
第7章 冷戦のなかの経済成長	①日韓基本条約の締結と意義、ベトナム戦争、沖縄返還と日中国交正常化、高度経済成長と生活の変化、公害の発生、石油危機を経た経済大国化と日米同盟、家族のかたちや働き方の変化など、80年代までの戦後史の展開を理解させる。	日韓基本条約の締結と意義、ベトナム戦争、沖縄返還と日中国交正常化、高度経済成長と生活の変化、公害の発生、石油危機を経た経済大国化と日米同盟、家族のかたちや働き方の変化など、80年代までの戦後史の展開から課題を見だし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。		
第8章 現代の日本	②冷戦体制と55年体制の終焉、経済のグローバル化の進展、そして21世紀に入ってから日本の政治・経済・社会の動向を理解する。	冷戦体制と55年体制の終焉、経済のグローバル化の進展、そして21世紀に入ってから日本の政治・経済・社会の動向から課題を見だし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。		
現代から探究 「エネルギー政策の歴史と現在」	「エネルギー政策の歴史と現在」を参考事例として、現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史にかかわる身の回りの社会的事象と関連させた適切な主題を設定し、資料を活用して探究し、その解決に向けた考えを表現する。	「エネルギー政策の歴史と現在」を参考事例として、現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史にかかわる身の回りの社会的事象と関連させた適切な主題を設定し、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。		

年間指導計画（書式）

教科・科目	地理歴史・地理A		単位数	2単位
使用教科書	高等学校 新地理A（帝国書院）		対象学年 学科・組	3年 農業科・5組
使用副教材	新詳高等地図（帝国書院） 高等学校新地理Aノート（帝国書院） 世界の諸地域NOW2022（帝国書院）			
科目の概要と目標	現代世界の地理的な諸課題を、地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。			
単元	学習内容	到達度目標		
1部 世界の諸地域の姿と地理的課題 1章 地球儀や地図からとらえる現代世界 ・地球上の位置と国家 ・グローバル化が進む世界	地球儀と世界地図との比較、略地図の描画などを通して、地球表面の大陸と海洋の形状や各国の位置関係、方位、時差及び日本の位置と領域などについて理解する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時差に関する地図や諸資料を収集し、有用な情報を選択して読み取ったり、計算により時差を求めたり、図表などにまとめたりしている。</li> <li>・経度の違いと時差についての基本的な事柄を身についている。</li> <li>・地球を地図におきかえるさまざまな方法や図法の活用について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> <li>・日本の領域と領土問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</li> </ul>		
2章 人間生活を取り巻く環境 ・人々の生活と地形 ・人々の生活と気候 ・人々の生活と産業・文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界諸地域の生活・文化を地理的環境や民族性と関連付けて追求し、理解を深める。</li> <li>・近隣諸国の生活・文化の特色を追求し、日本との共通性、異質性を地理的に考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル化が進む現代社会に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</li> <li>・自由貿易の進展による世界的な動向や諸地域における経済的結びつきの強まりについて、基本的な事柄を追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</li> <li>・情報通信の発達に関する地図・統計などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</li> <li>・観光の国際化と人の移動に関する課題を見出し、それを地域性や歴史的背景をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> <li>・内的営力と外的営力および大地形に関する基本的な事柄を追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</li> <li>・山地・平野の地形と人々の生活とのかかわりについて、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> <li>・気候要素と気候因子、ケッペンの気候区分についての基本的な事柄を追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</li> <li>・生活を支える世界の農業に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</li> <li>・農業の発達や国際化などに関する課題を見出し、歴史的背景や地域どうしの結びつき、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> <li>・世界の農業地域に関する地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</li> <li>・世界の農業の種類や農業地域の分布、農業をめぐる動向についての基本的な事柄を追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</li> <li>・工業の発達と種類、工業地域の分布および世界的な動向についての基本的な事柄を追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</li> <li>・世界の諸地域にみられる言語や宗教の特徴および生活・文化との関係について理解し、その知識を身につけている。</li> </ul>		
3章 世界の諸地域の生活・文化 ・中国・韓国 ・東南アジア ・南アジア ・中央アジア・西アジア ・北アフリカ ・サハラ以南のアフリカ ・ヨーロッパ・ロシア ・アングロアメリカ ・ラテンアメリカ ・オーストラリア	世界の地形や気候、産業、文化の特徴について理解し、人々の生活との関わりについて考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の諸地域について、自然環境について、基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付ける。</li> <li>・世界の諸地域について、その社会の特徴と近年の変化や課題を見出し、地域性や歴史的背景をふまえて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> <li>・世界の諸地域について、農業を中心に関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</li> </ul>		
4章 地球的課題と私たち ・複雑にからみ合う地球的課題 ・世界の環境問題 ・世界の資源・エネルギー問題 ・世界の人口問題 ・世界の食料問題 ・世界の都市・居住問題	環境、資源・エネルギー、人口、食料及び住居・都市問題を地球的及び地域的視野から追求し、地球的課題は地域を越えた課題であるとともに地域によって表れ方が異なっていることを理解し、それらの課題の解決にあたっては各国の取り組みとともに国際協力が必要であることにも理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複雑にからみ合う地球的課題について、その背景にある先進国と発展途上国との経済格差などに着目し、基本的な事柄を追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</li> <li>・直面する地球規模の課題を見出し、それを地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> <li>・複雑にからみ合う地球的課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</li> </ul>		
2部 身近な地域の課題 1章 身近にあるさまざまな地図	・私たちの身近にある地図やGISについての理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身のまわりにあるさまざまな地図とその特色について、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> <li>・GISのしくみとその利用について、生活にどのように役立っているか基本的な事柄を追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</li> <li>・自分で地図を作成することへの関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究している。</li> </ul>		
2章 日本の自然環境と防災	日本の自然環境の特徴とその自然環境がどのような恩恵や災害と結び付いているのかを理解し、防災についての理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の自然環境と自然災害についての基本的な事柄を追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</li> <li>・風水害のなかの浸水被害や都市型水害などとそれらへの防災について、地形や気候などの地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> <li>・土砂災害や雪害とそれらへの防災に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</li> </ul>		
3章 身近な地域の課題と地域調査	・身近な地域の課題について地理学的な視点から考える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な地域の課題と地域調査についての基本的な事柄を追究の方法を理解し、その知識を身につけている。</li> <li>・身近な地域の課題を見出し、それを地域性や歴史的背景、日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。</li> <li>・身近な地域への関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。</li> </ul>		

教科・科目	地理歴史・地理総合	単位数	2単位
使用教科書 副教材	高等学校新地理総合（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院） 高等学校新地理総合ノート（帝国書院）	対象学年 学科・組	1年普通科・農業科 1～5組

科目の概要 と目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。
--------------	--

学習項目・内容 (単元・章・節など)	達成度目標 ①＝知識・技能 ②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度
第1部 地図でとらえる現代世界 第1章 地図と地理情報システム 第2章 結びつきを深める現代世界 1節 現代世界の国家と領域 2節 グローバル化する世界	<b>第1章</b> ①日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 ②地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。“球体としての地球、時差と生活、おもな図法による世界地図、地図の表現を理解し、以降の学習の基盤を築くとともに、日常生活で活用する力を身につける。 ・国家の3要素や国境のなりたち、領域における海洋の役割、日本と周辺諸国との間の領有権問題について理解し、国境や領土問題が国際関係、人々の生活におよぼす影響を考察する。 ・外国で暮らす日本人を題材として、日本と諸外国との関係を理解する。国家間の結びつきを地域経済圏や国際連合を通して考察する。さまざまな統計地図や統計資料を分析し、表現する地理的スキルを養う。 <b>第2章</b> ①現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきについて理解している。 ②現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
第2部 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解 1節 世界の地形と人々の生活	<b>第1章</b> ①世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。

<p>2節 世界の気候と人々の生活</p> <p>3節 世界の言語・宗教と人々の生活</p> <p>4節 歴史的背景と人々の生活</p> <p>5節 世界の産業と人々の生活</p> <p>第2章 地球的課題と国際協力</p> <p>2節 地球環境問題</p> <p>4節 人口問題</p> <p>5節 食料問題</p>	<p>世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。</p> <p>②世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p> <p><b>第2章</b></p> <p>①世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。</p> <p>世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。</p> <p>②世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>
<p>第3部 持続可能な地域づくりと私たち</p> <p>第1章 自然環境と防災</p> <p>1節 日本の自然環境</p> <p>2節 地震・津波と防災</p> <p>3節 気象災害と防災</p> <p>4節 自然災害への備え</p>	<p><b>第1章</b></p> <p>①我が国をはじめ世界でみられる自然災害や生徒の生活圏でみられる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。</p> <p>さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的スキルを身に付けている。</p> <p>②地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>

年間指導計画

教科・科目	地理歴史・歴史総合		単位数	2単位
使用教科書	新選歴史総合（東京書籍）		対象学年	1年
使用副教材	（なし）		学科・組	普通科・農業科
科目の概要と目標	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、資料を活用しながら歴史の学び方を習得し、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。			
単元	学習内容	到達度目標		
第1章1節 歴史の扉	私たちの生活・地域と、日本や世界の歴史とのつながり	○身近な諸事象が、日本や世界の歴史とつながっていることを理解する。		
第2章1節 近代化と私たち	近代化に伴う生活や社会の変容	○通商と産業の発展、市民社会の形成などに関する資料を活用し、近代化に伴う生活や社会の変容について考察する。		
第2章2節 結び付く世界と日本の開国	18世紀のアジア各地域間、アジア諸国と欧米諸国との関係とその変容	①アジア諸国相互ならびに欧米諸国との関係を多面的・多角的に考察・表現し、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 ②産業革命の影響、中国・日本の開国の背景・影響などに着目して、工業化と世界市場の形成を理解する。		
第2章3節 国民国家と明治維新	近代の政治や国家、国際関係の仕組みの形成過程とその展開	①政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを通して、立憲体制と国民国家の形成を理解する。 ②帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容を通して、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。		
第3章1節 国際秩序の変化や大衆化と私たち	大衆化が国際社会・国際秩序にもたらした影響	○国際関係の緊密化、米ソ両国の台頭、植民地の独立、大衆の地位向上、生活様式の変化などに関する資料を活用し、国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。		
第3章2節 第一次世界大戦と大衆社会	第一次世界大戦が起こった原因・背景と生活・社会・国際秩序に与えた影響	①第一次世界大戦の性格と惨禍、各国の関係や国際協調体制の特徴を通して、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。 ②第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを通して、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。		
第3章3節 経済危機と第二次世界大戦	第二次世界大戦が起こった原因・背景と生活・社会・国際秩序に与えた影響	①各国の世界恐慌への対応、国際協調体制の動揺の要因などを通して、国際協調体制の動揺を理解する。 ②第二次世界大戦の性格、大戦下の社会状況、占領政策と国際情勢との関係等を考察し、大戦後の国際秩序と日本の国際社会復帰を理解する。		
第4章2節 冷戦と世界経済	冷戦対立と国際政治・経済の展開	○冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容を通して、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。		
第4章3節 世界秩序の変容と日本	グローバル化の進展と新たな課題への対応	①市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを通して、市場経済の変容と課題を理解する。 ②冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを通して、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。		

年間指導計画

富山県立入善高等学校

教科・科目	公民・ 公共	単位数	2単位
使用教科書 副教材	高等学校 公共（第一学習社） 高等学校 公共ノート（第一学習社）	対象学年 学科・組	2年 普通科

科目の概要 と目標	<p>1 地域的特色と、日本及び世界との関わりを理解するとともに、調査や情報を効果的にまとめる技能を身に付けた生徒を育成する。</p> <p>2 社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動に取り組むことのできる生徒を育成する。</p> <p>3 多面的、多角的な考察や深い理解を通して、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする生徒の態度を養う。</p>
--------------	---

単元	学習内容	到達度目標
<b>第1章 公共的な空間をつくる私たち</b> I-①社会に生きる私たち I-②個人の尊厳と自主・自律 I-③多様性と共通性 I-④キャリア形成と自己実現 II-①伝統や文化とのかかわ	・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などのさまざまな集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることを学ぶ。	・公共的な空間において社会に参画する自立した主体となるために、青年期を生きる私たちは、何を考え行動すればよいかを理解する。 ・公共的な空間で生きていくために必要なこととして、個人として尊重されることや、対話を通して他者を理解することを学ぶ。 ・伝統や文化と、自らの行動様式や考え方との関係について理解する。
<b>第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方</b> I-①人間と社会のあり方についての見方・考え方 I-②実社会の事例から考える～環境保護 I-③実社会の事例から考える～生命倫理 II-①公共的な空間を形成するための考え方 II-②よりよく生きる行為者として活動するために	・古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解する。	・選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 ・環境保護や生命倫理に関する事例をもとに、自らも他者も共に納得できる解決方法を見出すことに向け、選択・判断の手掛かりとしての二つの考え方をもとに、行為者自身の人間としてのあり方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解している。
<b>第3章 公共的な空間における基本的原理</b> I-①人間の尊厳と平等 I-②個人の尊重 I-③民主政治の基本的原理 I-④法の支配 I-⑤自由・権利と責任・義務 II-①世界のおもな政治体制 II-②日本国憲法に生きる基本的原理	・古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、公共的な空間における基本的原理を理解する。	・人権保障のあゆみや世界の政治体制、日本国憲法などを通して、公共的な空間における基本的原理が、現代社会でどのような形で生かされているかを理解する。 ・法やルールを定める時には、どのようなことに配慮する必要があるかを理解する。 ・身のまわりの偏見や差別・不平等、自由権が保障されていない問題について理解し、その解決策を考える。 ・安全で豊かに生き、法をよりよいものにするための権利や、それを実現するための法・規範を理解する。



年間指導計画（書式）

教科・科目	数学・数学 I	単位数	3 単位
使用教科書	新 高校の数学 I (数研出版)	対象学年 学科・組	1 年 農業科・5 組
使用副教材	改訂版 ポイントノート 数学 I (数研出版)		
科目の概要と目標	方程式と不等式および 2 次関数について、基礎的な知識の習得と技術の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。		
単元	学習内容	到達度目標	
1 章 数と式	1 節 数と式の計算 ①計算の基本 ②単項式と多項式 ③多項式の加法と減法 ④多項式の乗法 ⑤展開の公式 ⑥因数分解 ⑦展開，因数分解の工夫 ⑧根号を含む式の計算 ⑨実数 2 節 1 次不等式 ① 1 次方程式 ②不等式 ③不等式の解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学の復習をしながら、方程式の意味や解法について学ぶ。</li> <li>・因数分解を利用して 2 次方程式を解くことができるようになる。</li> <li>・平方根の考えに基づいて 2 次方程式を解くことができるようになる。</li> <li>・2 次方程式の解の公式を導く過程を考え、その公式を利用して 2 次方程式を解くことができるようになる。</li> <li>・2 次方程式を利用して、応用問題が解けるようになる。</li> <li>・身近な例を使って不等式をつくり、不等式の意味や不等式の解の意味を理解する。</li> <li>・不等式をみたす <math>x</math> の値の範囲を数直線上に図示できるようにする。</li> <li>・不等式の性質を学び、1 次方程式の解法と対比しながら、1 次不等式を解くことができるようになる。</li> <li>・連立不等式の意味を理解し、その解を求められるようになる。</li> </ul>	
2 章 2 次関数	1 節 2 次関数のグラフ ①関数 ② 1 次関数のグラフ ③ 2 次関数のグラフ (1) ④ 2 次関数のグラフ (2) 2 節 2 次関数の値の変化 ① 2 次関数の最大値，最小値 ②グラフと 2 次方程式 ③グラフと 2 次不等式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関数の概念、関数の値やそのグラフについて理解する。</li> <li>・2 次関数の特徴を捉え、2 次関数のグラフを描くことができるようになる。</li> <li>・定義域に注意して、2 次関数の最大・最小を求めることができる。</li> <li>・与えられた条件から、2 次関数を決定することができる。</li> <li>・中学の復習をしながら、方程式の意味や解法について学ぶ。</li> <li>・因数分解を利用して 2 次方程式を解くことができるようになる。</li> <li>・平方根の考えに基づいて 2 次方程式を解くことができるようになる。</li> <li>・解の公式を利用して 2 次方程式を解くことができるようになる。</li> <li>・2 次方程式を利用して、応用問題が解けるようになる。</li> <li>・グラフを利用して、不等式が解けるようになる。</li> </ul>	
3 章 図形と計量	1 節 三角比 ①直角三角形 ②三角比 ③三角比の利用 ④三角比の相互関係 ⑤鈍角の三角比 2 節 三角形への応用 ①正弦定理 ②余弦定理 ③三角形の面積	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鋭角の三角比について学び、活用できるようになる。</li> <li>・三つの辺と三つの角の正弦の関係を学び、活用できるようになる。</li> <li>・二辺とその間の角の余弦を用いて、三角形の他の一辺の長さを求めることができるようになる。</li> <li>・二辺とその間の角の正弦を用いて、三角形の面積を求めることができるようになる。</li> <li>・三角比と空間図形を関連させて、高さや距離を求められるようになる。</li> <li>・座標や単位円を用いることによって、三角比を <math>0^\circ</math> から <math>180^\circ</math> まで拡張できることを理解し、鈍角の三角比の値が求められるようになる。</li> </ul>	
4 章 集合と命題	①集合 ②命題と集合 ③必要条件と十分条件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集合の包含関係、共通部分と和集合、空集合、補集合、ド・モルガンの法則を理解する。</li> <li>・集合に関する記号の意味を理解し、適切に使うことができる。</li> <li>・命題と条件、必要条件、十分条件、必要十分条件の用語の定義を学び、さらに、図表示による包含関係と関連づけて理解する。</li> <li>・命題の逆・裏・対偶を理解する。また、対偶を利用した証明法や背理法による証明法を習得するとともに論理的な思考力を養う。</li> </ul>	
5 章 データの分析	①データの整理 ②データの代表値 ③データの散らばり ④データの相関 ⑤仮説検定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・度数分布、ヒストグラムの意味を理解する。また、それらを作成し、目的に応じて資料を整理できるようになる。</li> <li>・各代表値の意味を理解し、それぞれの特徴を踏まえ、データの傾向を的確にとらえることができるようになる。</li> <li>・複数のデータを比較するために、四分位数や箱ひげ図の意味を理解し、描くことができるようになる。</li> <li>・2 つの変量間の関係を表す散布図の意味を理解し、それをもとに相関関係を考えることができるようになる。</li> <li>・相関関係の度合いを数量的に表す相関係数の意味を理解し、相関係数を計算できるようになる。</li> <li>・仮説検定の考え方を理解し、簡単な事象について、仮説検定を行うことができるようになる。</li> </ul>	

教科・科目	理科・科学と人間生活	単位数	2 単位
使用教科書	高等学校 科学と人間生活(第一学習社)	対象学年 学科・組	1 年 農業科・5 組
使用副教材	ネオパルノート科学と人間生活(第一学習社)		
科目の概要と目標	<p>・自然と人間生活とのかかわり、および科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察・実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。</p> <p>・科学技術の発展が、今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて理解させる。</p> <p>・身近な自然の事物・現象および日常生活や社会の中で利用されている科学技術を取り上げ、科学と人間生活とのかかわりについて認識を深めさせる。</p> <p>・自然と人間生活とのかかわり、および科学技術が人間生活に果たしてきた役割についての学習を踏まえて、これからの科学と人間生活とのかかわり方について考察させる。</p> <p>日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う</p>		
単元	学習内容	到達度目標	
序章 科学技術の発展	わたしたちの暮らしと科学	・科学技術の発展が今日の生活を豊かで便利にしてきたことに貢献し、社会の変化に影響を与えてきたことを、身近な科学技術の例から理解している。	
	1. 情報伝達技術の発展	(1) グーテンベルクの活版印刷機の改良から大量印刷が可能になり、その結果、情報の伝達速度が飛躍的に速まったことを理解している。	
		(2) 電気の実用化から電話が発達し、電磁波の発見から無線通信、ラジオやテレビ放送へと発達してきた過程を理解している。	
		(3) コンピュータによる情報処理技術の発展からインターネット、携帯電話の普及、AIやIoTの時代までの展開について、関心をもって学習している。	
	2. エネルギー資源の活用と交通手段の発展	(1) 過去の人類のエネルギー源に関心をもち、蒸気機関の発明によって、人・物の大量移動・大量輸送がはじまり、かつ化石燃料の大量消費がはじまった流れを理解している。	
		(2) 蒸気機関の改良からガソリンエンジンのような内燃機関が開発され、自動車や飛行機が普及した発展の流れを理解している。	
		(3) 高速鉄道、ジェット旅客機、宇宙ロケットなどが開発された科学技術の発展の歴史を理解し、地球環境を持続させるためのエネルギー資源の利用について認識している。	
	3. 医療技術の発展	(1) 古代の医療の考え方について学習し、顕微鏡の発明からその後の病原菌の発見、ワクチンの開発へと発展した科学技術の変遷に興味深く学習する態度を身につけている。	
		(2) 止血法(血管結さつ法)、全身麻酔法、消毒法の発見・開発によって近代医学が格段に進化したことを理解している。	
		(3) DNAの分子構造の解明がヒトゲノムの解読へと展開され、それが遺伝子レベルの疾患の解明と治療に貢献したことについて、科学的に認識している。	
第1章 物質の科学	第1節 材料とその利用	・日常生活にみられる身近な物質の素材となる材料の種類、性質、および用途について理解する。	
		(1) わたしたちの身のまわりにあるプラスチックの特徴と、プラスチックの原料について、概ね理解している。	
		(2) プラスチックやその原料となる物質は、おもに炭素原子と水素原子からなる有機物であることの知識を身につけている。	
		(3) プラスチックの性質と用途について、実験・観察などを通して科学的に思考できる。	
		(4) 熱に対する性質を調べることによって、プラスチックを熱可塑性樹脂と熱硬化性樹脂に分類することができる。	
		(5) 高吸水性樹脂、導電性樹脂、光透過性樹脂、生分解性プラスチックなどの新しいプラスチックの性質や用途について理解している。	
		(6) 金属の利用の歴史から、金属結合とそれにもとづく金属の性質について認識している。	
		(7) 鉄について、その性質や製錬方法、利用法などについて理解している。	
		(8) アルミニウムと銅について、その性質や製錬方法、利用法などを、実験・観察を通して科学的に理解している。	
		(9) 資源の再利用方法に関心を抱き、特にプラスチックがどのように再利用されているかを理解している。	
(10) 金属とガラスの再利用を学び、再利用の必要性について科学的に認識する態度を身につけている。			

第II章 生命の科学	第1節 ヒトの生命現象	・DNAの構造、タンパク質の合成、血糖濃度の調節、免疫のしくみ、多様な微生物と生態系ではたらき、微生物と人間生活とのかかわりについて理解する。
		(1) タンパク質の構造やはたらきについて、理解している。
		(2) 遺伝子によって決められているヒトの形質に興味を抱き、DNAの構造や特徴、塩基配列の重要性について理解している。
		(3) DNAの塩基配列が、タンパク質のアミノ酸配列に置き換えられるしくみについて関心をもち、転写・翻訳の流れを理解している。
		(4) 内部環境の維持の重要性について理解し、血糖濃度の調節のしくみに関する知識を習得している。
		(5) 身近な病気である糖尿病について関心をもち、糖尿病の原因、治療法、注意点などを理解している。
		(6) 生体防御のうち、物理的・化学的な防御と、白血球による食作用のしくみについて理解している。
		(7) 抗体産生による生体防御のしくみ、および二次応答を利用した予防接種のしくみ、さらにアレルギーについて理解し、知識を身につけている。
		(8) ヒトの感覚について興味をもち、ヒトの眼の構造を学習し、視細胞の種類やはたらきについての的確に表現できる。
		(9) 日常生活での視覚体験に関心を抱き、錯視の体験を通じて、視覚の成立や錯覚について、科学的に理解している。
(10) 身近な動物の周期的な行動に感心をもち、ヒトの体内時計のしくみやその補正、概日リズムについて科学的に理解している。また、太陽光がヒトの健康に与える影響について、的確に表現できる。		
第III章 熱や光の科学	第1節 熱の性質とその利用	・熱の性質やエネルギーの変換と保存、有効利用、および光を中心とした電磁波の性質とその利用について理解する。 ※[第1節 熱の性質とその利用]と[第2節 光の性質とその利用]は、いずれか1つを選択して学習するため、シラバス案の展開時期は重複している。
		(1) セルシウス温度や絶対温度について理解し、熱運動についての知識を身につけている。
		(2) 熱平衡の現象と、物体の熱容量と比熱について、実験を通して科学的に理解している。
		(3) 熱伝導、対流、熱放射などのしくみについて、実験などを通して理解している。また、水の状態変化と潜熱の概念について知識を習得している。
		(4) 仕事とエネルギーと関係、ジュール熱と電力の関係について、物理式を用いながら理解している。
		(5) さまざまなエネルギーの形態やエネルギー保存の法則について、関心をもちて学習している。
		(6) 可逆変化と不可逆変化について理解し、熱機関、永久機関の学習を通して、熱はすべて仕事に変えられないことを科学的に理解している。
(7) ハイブリッドカーの開発などの省エネルギーの試みや、太陽光や風力、地熱などの代替エネルギーの開発について、関心をもちて知識を習得している。		
第IV章 地球や宇宙の科学	第1節 太陽と地球	・身近な自然景観の成り立ちと自然災害、および太陽や月などの身近にみられる天体と人間生活とのかかわり、太陽系における地球について理解する。 ※[第1節 自然景観と自然災害]と[第2節 太陽と地球]は、いずれか1つを選択して学習するため、シラバス案の展開時期は重複している。
		(1) 生物の生存に不可欠な太陽に興味をもち、太陽系の中心である太陽と、太陽系を構成する天体の概観について理解している。
		(2) 私たちのすむ地球に関心をもち、地球型惑星と木星型惑星の違い、太陽系外縁天体、小惑星、彗星の特徴について、理解している。
		(3) 太陽放射と地球放射、地球のエネルギー収支、温室効果について科学的に思考でき、実験結果を通して地球放射のしくみを的確に表現できる。
		(4) 大気の循環と気候変動の現象の理解を通して、人間生活に恩恵をもたらす太陽について、科学的に理解している。
		(5) 夜空の星々に関心をもち、星や太陽を観測するときの天球の概念や、太陽やその他の天体の日周運動について、科学的に理解している。
		(6) 星座や月の動きに興味を抱き、太陽の年周運動や、月の動きと形の変化について、科学的に理解している。
		(7) 潮汐について関心をもち、潮汐がどのようにしておこるかを科学的に概ね理解している。
(8) 暦に関心をもち、太陽の動きから現在も使用されている暦が形成されたことを科学的・論理的に表現できる。		
第V章 これからの科学と人間生活	・自然と人間生活とのかかわりおよび科学技術が人間生活に果たしてきた役割についての学習を踏まえ、これからの科学と人間生活とのかかわり方について考察する。	
課題の設定と研究の進め方	・具体的な課題の研究・調査を始めるにあたって、課題の設定から研究計画の立案、研究の実施、およびレポートの作成、プレゼンテーションまでの展開を的確に理解している。	
課題研究	身近な科学現象から題材を設定し、研究を進め、発表を行う。	

年間指導計画（書式）

教科・科目	化学基礎		単位数	2単位
使用教科書	化学基礎（実教出版）		対象学年 学科・組	1年 農業科 5組 2年 普通科 1・2組 農業科 5組
使用副教材	高校化学基礎カラーノート新課程版（実教出版）			
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化学に関する事象・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。</li> <li>・観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、化学に関する事象・現象を科学的に探究する技能を身につけている。</li> <li>・自然界や産業界にある事象・現象の中に問題を見出し、化学的に探究する過程を通して、事象を科学的・論理的に考察し、導き出した考えを的確に表現することができる。</li> <li>・自然の事象・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度が養われている。</li> <li>・自然の原理・法則や科学技術と私たちの生活とのかかわりについて社会が発展するための基盤となる化学に対する興味・関心を高めている。</li> </ul>			
単元	学習内容	到達度目標		
序章	物質と化学	物質の性質に注目し、それぞれの物質を性質ごとに分類することができる。 中学校で習った知識と関連付けながら仮説をたて、実験を計画し、結果をまとめ、発表することができる。 日常生活や社会を支える物質やその利用に関心を持ち、物質の取り扱い方や人間生活における役割を探究しようとする。 実験を通して、身近な物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。		
1章 物質の構成	1節 物質の探究	1 物質の分類と性質 2 物質と元素 3 物質の三態と熱運動	身のまわりの物質を純物質と混合物に分類することができる。 物質を探究するための具体的な方法を身につけている。 粒子の熱運動と粒子間にはたらく力との関係を理解している。 物質の物理的、化学的性質を調べることにより、物質が数種類に分類できることを実験的・論理的に考え、表現することができる。 物質の状態変化について粒子の運動をもとに考えることができる。 物質の構造や性質に関する事象に関心を持ち、意欲的に物質を探究しようとする。 身近な物質の三態変化と、粒子の熱運動と温度との関係に関心を持ち、それらを意欲的に探究しようとする。	
	2節 物質の構成粒子	1 原子の構造 2 イオンの生成 3 周期表	物質が原子から成り立っていることを理解している。 原子は原子核と電子からなっていて、価電子が物質の性質を決めていることを理解している。 同位体についての正しい知識を身につけている。 元素の性質が電子配置と関係しており、現在の周期表がつけられていることを理解することができる。 原子構造の簡単なモデルを描く技能を習得し、的確に表現する。 イオンの生成を電子配置と関連づけて考えることができる。 元素の性質に興味を持ち、元素の性質が周期的に変わることを探究しようとする。	
2章 物質と化学結合	1節 イオン結合	1 イオン結合 2 イオン結晶	イオン結合がイオン間の静電的な引力による結合であることを理解している。 イオン結合でできた物質に共通する性質について、推論することができる。 水溶液中や熔融した状態のイオンの挙動をイメージし、表現することができる。 イオン結合でできた物質の性質について探究しようとする。	
	2節 共有結合と分子間力	1 共有結合と分子間力 2 共有結合からなる物質	共有結合を電子配置と関連づけて理解している。 配位結合について理解している。 分子の電子式・構造式を書くことができる。 電気陰性度を理解している。 分子に働く力を理解し、分子結晶や高分子化合物について理解している。 電気陰性度を理解し、分子の形と合わせて極性について考えることができる。	
	3節 金属と金属結合	1 金属結合と金属 2 身のまわりの金属	金属結合が自由電子の介在した結合であることを理解している。 電気伝導性や展性、延性などの金属の性質と関連付けて理解している。 身近な金属の色や性質、電気や熱の伝導度について観察したり、調べたりする技能を習得している。 自由電子と金属の性質を結び付けて考えることができる。 金属元素どうしがどのように結びついているのかについて探究しようとする。 金属に共通する性質について、探究しようとする。	
	4節 化学結合と物質	1 結晶の分類 2 化学結合と身のまわりの物質	1～3節で学習した化学結合の種類を系統だてて理解している。 1～3節で学習した化学結合について、特徴を比較しながら表現することができる。 身近な物質を化学結合の種類と結び付けて考えることができる。	
3章 物質の変化	1節 物質量と化学反応式	1 原子量と分子量・式量 2 物質量 3 溶液の濃度 4 化学反応式	原子量・分子量・式量と物質量の関係を論理的・分析的・包括的に理解している。 物質量を用いた基本的な計算ができる。 化学式と原子量・分子量・式量・物質量の関係を身につけている。 物質量と気体の体積の関係を理解している。 モル濃度が、溶液の体積と溶質の物質量との関係を表していることを理解している。 溶液調製に必要な実験器具を適切に取り扱い、目的とする濃度の水溶液を調製する技能を習得している。 基本的な化学式、化学反応式を書く技能を習得している。 質量パーセント濃度とモル濃度の違いを表現することができる。 化学式、化学反応式を書く技能を習得し、的確に表現することができる。 反応式の係数が、物質量の比を表していることを見出すことができる。 溶液の濃度の表し方について探究しようとする。 いろいろな物質の化学変化に注目し、化学変化の量的関係を物質量と関連づけて考察しようとするとともに、意欲的にそれらを探究しようとする。	
	2節 酸と塩基	1 酸と塩基 2 水素イオン濃度とpH 3 中和反応と塩	酸・塩基の定義を理解し、日常生活と関連づけて酸・塩基の反応を捉えることができる。 酸・塩基の価数・強弱の関係を理解している。性、塩基性の程度とpHの関係を理解している。 中和反応における量的関係を理解している。 中和滴定の実験を行い、メスフラスコ、ビュレット、ホールビペットなどの実験器具の取り扱いを習得している。 酸・塩基の量的関係から濃度未知の酸や塩基の濃度を実験で求める技能を修得している。 酸・塩基の化学式や酸・塩基の反応を通して、酸と塩基の共通性を見出し、酸・塩基の定義を理解できる。酸・塩基の価数・強弱の関係を理解し、電離度に関連付けて考察することができる。 酸・塩基はどのような物質であるか探究するとともに、酸性、塩基性の程度を表す方法を探究しようとする。	
	3節 酸化還元反応	1 酸化と還元 2 酸化剤と還元剤 3 酸化還元反応の起こりやすさ 4 身のまわりの酸化還元反応	酸化・還元反応の定義を理解し、酸化と還元が同時に起こることを理解している。 酸化数の定義を理解している。 酸化剤・還元剤について理解し、酸化反応・還元反応で起こるイオン反応式を書くことができる。 イオン反応式から反応全体の化学反応式を導くことができる。 酸化還元反応の量的関係を理解している。 金属のイオン化傾向を、酸化還元反応と関連付けて理解している。 酸化数の定義を理解し、これらの定義を適用できる反応を見出すことができる。 身近な現象と酸化還元反応を関連付けることができる。 酸化還元反応に関心を持ち、電子の授受という観点から化学反応をとらえ、意欲的に探究しようとする。	
終章	科学技術と化学	身のまわりの生活と化学基礎で学んできたことを結び付け、化学が生活に役立っていることを理解する。 身のまわりの生活に生かされている科学技術について、化学的に説明し、表現することができる。 化学が生活に役立っていることを理解し、教科書に掲載されている事柄以外の技術にも興味をもち、探究しようとする。		

年間指導計画（書式）

教科・科目	保健体育・体育		単位数	単位
使用教科書	なし		対象学年 学科・組	1年 普通科・1～4組 農業科・5組
使用副教材	なし			
科目の概要と目標	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正・協力・責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。			
単元	学習内容	到達度目標		
体づくり運動		<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな運動を通し、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動の意義や原則を理解し、健康の保持増進や体力を向上させることができる。</li> </ul>		
器械運動	マット運動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体力や技能に応じた回転系や技巧系の基本的な技ができる楽しさや喜びを味わうことができる。</li> </ul>		
陸上競技	短距離・持久走	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの種目の特性を理解し、運動の技能を高め、記録の向上の喜びや競争の楽しさを味わうことができる。</li> </ul>		
球技	サッカー バスケットボール ソフトテニス バドミントン 卓球 バレーボール ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本技術を身に付け、サッカーの特性を理解し、ボール空間を作り出す動きを活用したゲームの楽しさを味わうことができる。</li> <li>・基本技術を身に付け、バスケットボールの特性を理解し、空間を作り出す動きを活用したゲームの楽しさを味わうことができる。</li> <li>・基本技術を身に付け、狙った場所にボールを打ち返ししながら攻防を展開し、ゲームの楽しさを味わうことができる。</li> <li>・基本的な技術を身に付け、各種フライトを使い分けて攻防を展開し、ゲームの楽しさを味わうことができる。</li> <li>・基本技術を身に付け、ボールに変化をかけるなどの工夫をしながら攻防を展開し、ゲームの楽しさを味わうことができる。</li> <li>・基本技術を身に付け、フォーメーションを意識し、チームで協力して攻防を展開し、ゲームの楽しさを味わうことができる。</li> <li>・キャッチボールやバッティングの基本技術を身に付け、チームで協力して攻防を展開し、ゲームの楽しさを味わうことができる。</li> </ul>		
体育理論		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「スポーツの発祥と発展」について理解することができる。</li> </ul>		

年間指導計画（書式）

教科・科目	保健体育・体育		単位数	単位
使用教科書	なし		対象学年 学科・組	2年 普通科・1～4組 農業科・5組
使用副教材	なし			
科目の概要と目標	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正・協力・責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。			
単元	学習内容	到達度目標		
体づくり運動		<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな運動を通し、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、自分や仲間の心身の状態を感じたりすると共に交流する楽しさを味わいながら自己の健康保持増進や体力を向上させるためのことができる。</li> </ul>		
陸上競技	短距離・持久走	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の課題を設定し、その解決方法を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫することができる。</li> </ul>		
球技・武道	サッカー バスケットボール ソフトテニス バドミントン 卓球 バレーボール ソフトボール 柔道 ダンス 現代的なリズムダンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本技能を高め、個人やチームの課題を解決しながら、仲間と連携した動きでゲームを展開し、ゲームの楽しさを味わうことができる。</li> <li>・基本技能を高め、個人やチームの課題を解決しながら、仲間と連携した動きでゲームを展開し、ゲームの楽しさを味わうことができる。</li> <li>・基本技能を高め、個人の課題を解決しながら、パートナーと連携した攻防を展開し、ゲームの楽しさを味わうことができる。</li> <li>・基本技能を高め、個人の課題を解決しながら、シングルスやダブルスの攻防を展開し、ゲームの楽しさを味わうことができる。</li> <li>・基本技能を高め、個人の課題を解決しながら、シングルスやダブルスの攻防を展開し、ゲームの楽しさを味わうことができる。</li> <li>・基本技能を高め、個人やチームの課題を解決しながら、仲間と連携した動きでゲームを展開し、ゲームの楽しさを味わうことができる。</li> <li>・基本技能を高め、個人やチームの課題を解決しながら、仲間と連携した動きでゲームを展開し、ゲームの楽しさを味わうことができる。</li> <li>・武道の伝統的な考え方を理解し、基本動作と基本技術を身に付け、攻防を展開できるようになる。</li> <li>・全身を使って自由に踊ることを課題として、仲間とともにダンスの楽しさを味わうことができる。</li> </ul>		
体育理論		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「運動・スポーツの学び方」について理解することができる。</li> </ul>		

年間指導計画（書式）

教科・科目	保健体育・体育		単位数	単位
使用教科書	なし		対象学年 学科・組	3年 普通科・1～4組 農業科・5組
使用副教材	なし			
科目の概要と目標	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正・協力・責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。			
単元	学習内容	到達度目標		
体づくり運動		<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな運動を通し、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、自己の体力や生活での課題を発見し、合理的な解決ができるような計画を立てて、継続的に運動に取り組むことができる。</li> </ul>		
陸上競技	短距離・持久走	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の課題を設定し、その解決方法を発見し、合理的な解決ができるような計画を立てて、記録を高めることができる。</li> </ul>		
球技・武道	サッカー バスケットボール ソフトテニス バドミントン 卓球 バレーボール ソフトボール 柔道 ダンス 現代的なリズムダンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本技能を高め、チームとしての作戦や戦術を工夫しながらゲームを展開し、ゲームの楽しさを味わうことができる。</li> <li>・基本技能を高め、チームとしての作戦や戦術を工夫しながらゲームを展開し、ゲームの楽しさを味わうことができる。</li> <li>・基本技能を高め、ダブルスの作戦や戦術を工夫しながらパートナーと連携して攻防を展開し、ゲームの楽しさを味わうことができる。</li> <li>・基本技能を高め、シングルスやダブルスの作戦や戦術を工夫しながら攻防を展開し、ゲームの楽しさを味わうことができる。</li> <li>・基本技能を高め、シングルスやダブルスの作戦や戦術を工夫しながら攻防を展開し、ゲームの楽しさを味わうことができる。</li> <li>・基本技能を高め、チームとしての作戦や戦術を工夫しながらゲームを展開し、ゲームの楽しさを味わうことができる。</li> <li>・基本技能を高め、チームとしての作戦や戦術を工夫しながらゲームを展開し、ゲームの楽しさを味わうことができる。</li> <li>・基本技能を高め、チームとしての作戦や戦術を工夫しながらゲームを展開し、ゲームの楽しさを味わうことができる。</li> <li>・基本技能を高める中で得意技を身に付け、それを用いての攻防ができるようになる。</li> <li>・全身を使って自由に踊ることを課題として、仲間とともにダンスの楽しさを味わうことができる。</li> </ul>		
体育理論		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「豊かなスポーツライフの設計」について理解することができる。</li> </ul>		

年間指導計画（書式）

教科・科目	保健体育・保健		単位数	単位
使用教科書	現代高等保健体育（大修館）		対象学年 学科・組	1年 普通科・1～4組 農業科・5組
使用副教材	現代高等保健体育ノート（大修館）			
科目の概要と目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自ら健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。			
単元	学習内容	到達度目標		
現代社会と健康	健康の考え方と成り立ち 私たちの健康のすがた 生活習慣病の予防と回復 がんの原因と予防 がんの治療と回復 運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康 喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康 精神疾患の特徴 精神疾患の予防 精神疾患からの回復 現代の感染症 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防 健康に関する意思決定・行動選択 健康に関する環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康の考え方について理解できる。</li> <li>・わが国の健康水準の変化とその背景について理解できる。</li> <li>・生活習慣病の種類と要因について理解できる。</li> <li>・がんの種類や原因について理解できる。</li> <li>・がんのおもな治療法や緩和ケアについて理解できる。</li> <li>・健康と運動の関係について理解できる。</li> <li>・食事と健康の関係について理解できる。</li> <li>・健康と休養の関係及び適切な休養のとり方について理解できる。</li> <li>・喫煙者やその周囲の人に起こる害について理解できる。</li> <li>・飲酒による健康への短期的影響と長期的影響について理解できる。</li> <li>・薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響について理解できる。</li> <li>・精神疾患の発病の要因とおもな症状について理解できる。</li> <li>・精神疾患を予防する方法について理解できる。</li> <li>・精神疾患の治療について理解できる。</li> <li>・感染症とは何かについて潜伏期間や感染力なども含めて理解できる。</li> <li>・感染症の予防対策の3原則について理解できる。</li> <li>・性感染症・エイズがほかの感染症と異なる点について理解できる。</li> <li>・意思決定・行動選択に影響を与える要因について理解できる。</li> <li>・社会環境の健康への影響について理解できる。</li> </ul>		
安全な社会生活	事故の現状と発生要因 安全な社会の形成 交通における安全 応急手当の意義とその基本 日常的な応急手当 心肺蘇生法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故の実態と被害の実態について理解できる。</li> <li>・安全のために必要な個人の行動について理解できる。</li> <li>・交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について理解できる。</li> <li>・応急手当の意義について理解できる。</li> <li>・日常的なけがや熱中症の応急手当の手順や方法について理解できる。</li> <li>・心肺蘇生法の方法と手順について理解できる。</li> </ul>		



年間指導計画（書式）

教科・科目	保健体育・保健		単位数	単位
使用教科書	現代高等保健体育（大修館）		対象学年 学科・組	2年 普通科・1～4組 農業科・5組
使用副教材	現代高等保健体育ノート（大修館）			
科目の概要と目標	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自ら健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。			
単元	学習内容	到達度目標		
生涯を通じる健康	ライフステージと健康 思春期と健康 性意識と性行動の選択 妊娠・出産と健康 避妊法と人工妊娠中絶 結婚生活と健康 中高年期と健康 働くことと健康 労働災害と健康 健康的な職業生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフステージと健康の関連について理解できる。</li> <li>・思春期における体の変化について理解できる。</li> <li>・性意識の男女差について理解できる。</li> <li>・妊娠・出産の過程における健康問題について理解できる。</li> <li>・家族計画の意義と適切な避妊法について理解できる。</li> <li>・心身の発達と結婚生活の関係について理解できる。</li> <li>・加齢にともなう心身の変化について理解できる。</li> <li>・働くことの意義と健康のかかわりについて理解できる。</li> <li>・労働災害の種類とその原因について理解できる。</li> <li>・職場がおこなう健康に関する取り組みについて理解できる。</li> </ul>		
健康を支える環境づくり	大気汚染と健康 水質汚濁、土壌汚染と健康 環境と健康にかかわる対策 ごみの処理と上下水道の整備 食品の安全性 食品衛生にかかわる活動 保健サービスとその活用 医療サービスとその活用 医薬品の制度とその活用 さまざまな保健活動や社会的対策 健康に関する環境づくりと社会参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大気汚染の原因と健康への影響について理解できる。</li> <li>・水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響について理解できる。</li> <li>・環境汚染による健康被害を防ぐ方法について理解できる。</li> <li>・ごみの処理の現状やその課題について理解できる。</li> <li>・食品の安全性と健康とのかかわりについて理解できる。</li> <li>・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について理解できる。</li> <li>・保健行政の役割について理解できる。</li> <li>・わが国における医療保険のしくみについて理解できる。</li> <li>・医薬品の正しい使用法について理解できる。</li> <li>・国際機関・民間機関などの保健活動について理解できる。</li> <li>・健康の保持増進のための環境づくりについて理解できる。</li> </ul>		

年間指導計画

教科・科目	芸術・音楽 I		単位数	単位
使用教科書	高校生の音楽1 (教育芸術社)		対象学年 学科・組	1年 農業科・5組
使用副教材				
科目の概要と目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。			
単元	学習内容	到達度目標		
(表現・歌唱) ・「入善高等学校校歌」 ・「翼をください」 ・「野ばら」 ・「A Whole New World」	・歌唱の基本を学ぶ。 ・声を出すことに慣れる。 ・発声の図を用いつつ、力みのない歌唱法を身に付ける	・歌うときの基本的な姿勢、呼吸、声の響かせ方を身に付ける。  ・曲にふさわしい発声で表現を工夫して歌う。  ・歌詞の内容や曲の背景を理解し、詩情に合った歌唱表現を工夫する。		
(表現・器楽) ・リズムアンサンブル ・『クラッピングカルテット第1番』 ・様々な楽器を使ったアンサンブル 他	・基本的な音価の数を学ぶ。 ・パート毎の音響ヒエラルキーを考える。 ・様々な楽器でのアンサンブルを実践する。	・リズム奏に用いる楽器の組み合わせを工夫して豊かな音色で表現する。 ・曲にふさわしい奏法や身体の使い方を身に付ける。 ・他者との調和を意識して、その表現を工夫する。		
(表現・創作) ・創作 ・《きらきら星》の旋律で音楽をつくろう 他	・既存の作品の断片を用い、創作に触れる。 ・ニュアンスに合わせた音楽表現をする。	・自分のイメージに合わせて音楽をつくる。 ・創作表現に関わる知識や技能を身に付け、表現を創意工夫する。		
(鑑賞) ・ベートーヴェン：交響曲第9番 第4楽章 ・ガムラン ランチャラン マニャルセウ ・日本の伝統的な音楽 ・ミュージカル ・オペラ 他	・ワークシートを用いつつ、様々な音楽作品への意見を整理する。	・音楽のよさや美しさを味わって聴き、曲に対する評価とその根拠について考える。 ・音楽の特徴と文化的・歴史的背景について理解する。 ・我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について学ぶ。 ・音楽に込められた作曲者の思いについて話し合い、考えを深める。		

年間指導計画

教科・科目	芸術・美術 I	単位数	2 単位
使用教科書	美術1 (光村図書)	対象学年 学科・組	1 年 農業科・5 組
使用副教材			
科目の概要と目標	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成することを目指す。		
単元	学習内容	到達度目標	
【鑑賞(鑑賞中心)】 美術 I オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術の意義について考える。</li> <li>・1年間の題材について知る。</li> <li>・「美術の体操」に取り組む(4コマ漫画作成・鑑賞)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからの社会に求められる想像力と芸術表現の関わりについて、理解を深めている。</li> <li>・自分の日常的な生活などから主題を生成し、4コマ漫画の構成や造形について考え、創造的な表現の構想を練っている。</li> <li>・「美術の体操」などの発想を引き出す活動に主体的に取り組んでいる。</li> </ul>	
【鑑賞(表現中心)】 教科書作品模写	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書作品ベスト5を決める。</li> <li>・教科書作品を模写する。</li> <li>・模写作品を鑑賞し合い、作者の意図や心情について話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書作品の構図や配色、技法などを観察し、自分の技術を駆使し正確に再現しようとしている。</li> <li>・模写を通して作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の工夫などについて見方や感じ方を深め、自分の言葉で伝えようとしている。</li> <li>・教科書作品のよさや面白さを捉えて再現する造形活動に、粘り強く取り組んでいる。</li> </ul>	
【鑑賞(鑑賞中心)】 日本人現代アート作家鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本人現代アート作家の経歴と作品を知る。</li> <li>・作家の関連動画を視聴する。</li> <li>・作家についての自分の考えをまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代アート作品の造形的なよさや面白さを感じ取り、社会や美術界の動向と作家の表現意図との関係性、創造的な表現の工夫について考え、見方や感じ方を深めている。</li> <li>・現代アート作品から作家の表現意図を考える鑑賞の創造活動に主体的に取り組んでいる。</li> </ul>	
【絵画・彫刻(表現中心)】 エッチング(銅版画) 想像した世界を描く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夢や現実にはない不思議を想像し、主題を生成する。</li> <li>・主題をもとに、形や線・点、構図などの構想を練る。</li> <li>・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夢や想像、自分を見つめて感じ取ったことなどから主題を生成し、形や構図、イメージを組み合わせるなどの創造的な表現の構想を練っている。</li> <li>・主題に応じて形や線・点、構図などの表現を工夫し、創造的に表している。</li> <li>・夢や想像、自分を見つめて感じ取ったことなどをもとにした表現の創造活動に主体的に取り組んでいる。</li> </ul>	
【映像メディア(表現中心)】 ピンホールカメラで撮影しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な写真作品を鑑賞し、主題を持って撮影することについて考える。</li> <li>・ピンホールカメラの特性を踏まえ主題を生成する。</li> <li>・主題をもとに、構図や光などの構想を練り、撮影する。</li> <li>・現像処理を行い、写真(ネガ)作品を仕上げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形や色、光などがもたらす効果や造形的な特徴などをもとに、様々な主題で撮影された写真作品を、全体のイメージや作風で捉えている。</li> <li>・身近な対象を見つめ、感じ取ったことや考えたことをもとに主題を生成し、ピンホールカメラの特性、光や構図、ポーズなどの視覚的な要素の働きについて考え、創造的な表現の構想を練っている。</li> <li>・身近な対象を見つめ、表情や動き、背景などについて感じたことや考えたことをもとに写真に表現する創造活動に主体的に取り組んでいる。</li> </ul>	
【デザイン(鑑賞中心)】 色彩	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「見る」仕組みについて知る。</li> <li>・色の3原色、加法混色・減法混色</li> <li>・錯視・色彩心理</li> <li>・配色について</li> </ul> <p>[演習]</p> <p>①12色相環 ②明度・彩度対比</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚の原理や色彩心理などが生活に与える影響について理解を深め、それらをもとに色彩の演習に主体的に取り組んでいる。</li> <li>・色の3属性について理解を深め、色相環などの色づくり演習を合理的に進めることができる。</li> </ul>	
【デザイン(表現中心)】 オリジナルCDジャケットデザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デザインとは何か考える。</li> <li>・好きなアーティストの歌詞や曲調をもとに構図・配色・画材などの構想を練る。</li> <li>・画材や表現方法を工夫して制作する。</li> <li>・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形や配色、画材などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、ジャケットデザインを、全体のイメージや作風などで捉え理解している。</li> <li>・好きなアーティストの歌詞や曲調などから主題を生成し、構図や配色、CDジャケットの表・裏面の関係性などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。</li> <li>・アーティストが曲に込めた想いについて考え、構図や配色、画材を工夫してCDジャケットをデザインする創造活動に主体的に取り組んでいる。</li> </ul>	
【絵画・彫刻(表現中心)】 油彩画で自己を表す	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分を見つめて感じ取ったことから主題を生成する。</li> <li>・主題をもとに構想を練り、油彩画の特性を生かした表現方法を工夫し、制作する。</li> <li>・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分を見つめて感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、構図・配色、単純化や省略・強調などを考え、創造的な表現の構想を練っている。</li> <li>・表現意図に応じて画材や用具・技法を選択し、その特性を生かすとともに、表現方法を工夫し、主題を追究した想いについて考え、構図や配色、画材を工夫してCDジャケットをデザインする創造活動に主体的に取り組んでいる。</li> </ul>	
【鑑賞(鑑賞中心)】 近隣美術館での企画展鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学芸員から美術館が地域社会に果たす役割や展覧会の主旨を聞き、アートへの視野を広げる。</li> <li>・感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作家や作品の見方や感じ方を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展作品の造形的なよさや面白さを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</li> <li>・企画展作品から作家の表現意図について考える鑑賞の創造活動に主体的に取り組んでいる。</li> </ul>	

年間指導計画

教科・科目	芸術・書道 I		単位数	2 単位
使用教科書	書道1 (光村図書)		対象学年 学科・組	1 年 農業科・5 組
使用副教材				
科目の概要と目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書の表現の方法・形式・多様性を理解し、書写能力の向上を図り、伝統に基づいた表現の技能を身につける。</li> <li>・伝統・文化を通して書の美を感受し、価値を考え、意図に基づいた表現が工夫できる。</li> <li>・主体的な活動を通して、生涯にわたり書を愛好し、心豊かな生活・社会を創造する態度を養う。</li> </ul>			
単元	学習内容	到達度目標		
○書写から書道への発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文房四宝に対する理解</li> <li>・基本的な姿勢</li> <li>・生活の中の書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語科書写と芸術科書道の違いや目指すところを理解する。</li> <li>・用具の使用方法、手入れ方法を知り、大切に使えるようになる。</li> <li>・筆・鉛筆の持ち方、構え方、姿勢を身につける。</li> <li>・書の伝統と文化を感じながら学習し、身の周りの『書』に気付き、「生活の中に生きる書」への関心を高める。</li> </ul>		
○楷書の古典の鑑賞と臨書	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 鄭義下碑</li> <li>② 牛嶺造像記</li> <li>③ 孔子廟堂碑</li> <li>④ 九成宮禮泉銘</li> <li>⑤ 雁塔聖教序</li> <li>⑥ 顔氏家廟碑</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・書体の変遷について学び、楷書の成立を理解する。</li> <li>・古典を臨書し、いろいろな書風があることを知り、表現できるようになる。</li> <li>・筆の弾力、毛のねじれ、毛先の開閉などの特性を知り、意図に応じて適切に工夫し表現ができるようになる。</li> </ul>		
○行書の古典の鑑賞と臨書	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 蘭亭叙</li> <li>② 争座位稿</li> <li>③ 風信帖</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点画の連続する行書の特徴を理解する。</li> <li>・古典の表現の多様性を感じ取ることができる。</li> <li>・筆脈、抑揚、空間の大切さを学び、生かすことができるようになる。</li> </ul>		
○漢字作品の創作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字一字による創作</li> <li>・漢字二字による創作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典の学習を生かし、個性もプラスして作品を創作できるようになる。</li> <li>・学習したことを生活の中に生かし、表現する楽しみを知る。</li> <li>・「感情を書で表現する」ための構想を立て、墨の濃淡や潤濁、筆づかいを意図に応じて工夫できる。</li> <li>・創作作品を鑑賞し、作者の意図と表現の工夫を感知できる。</li> </ul>		
○仮名の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮名の基本</li> <li>・平仮名单体・いろは歌</li> <li>・連綿の方法</li> <li>・「高野切」の臨書</li> <li>・短歌のちらし書き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮名の用具や用語を理解し基本用筆を習得する。</li> <li>・平仮名の字源を知り、平仮名や変体仮名を理解する。</li> <li>・連綿の基本的法則を知り習得する。</li> <li>・単体、連綿を組み合わせ、空間の美しさも考慮した短冊・色紙作品が書けるようになる。</li> </ul>		
○漢字仮名交じり文の学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調和の方法</li> <li>・作品の製作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字と仮名を調和させる方法を考え、表現できるようになる。</li> <li>・書きたい文字や言葉を、感情豊かに表現を工夫した作品が書けるようになる。</li> </ul>		

教科・科目	外国語・英語コミュニケーション I	単位数	3 単位
使用教科書 副教材	All Aboard! English Communication 1 (東京書籍) All Aboard! English Communication 1 WORKBOOK (東京書籍)	対象学年 学科・組	1 年 農業科・5 組

科目の概要 と目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとすることができる。</li> <li>聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解することができる。</li> <li>話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えることができる。</li> <li>言語の運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解することができる。</li> </ol>
--------------	---

単元	学習内容	到達度目標
Lesson 1 Breakfast around the World	・世界の国々での典型的な朝食についての紹介文を読み、自分の好きな食べ物についてペアでやりとりを行う。 【言語材料】過去形	好きな食べ物について、英語で述べることができる
Lesson 2 Australia's Cute Quokkas	・クオッカの生態と、クオッカが生息する場所として多くの観光客を集めている島について学ぶことを通して、動物との共存を考える。【言語材料】進行形	好きな動物について、英語で述べることができる
Lesson 3 A Train Driver in Sanriku	・岩手県の三陸海岸沿いを走る三陸鉄道で運転士をしている宇都宮聖花さんについて読み、将来働くことについて考えるきっかけとする。【言語材料】助動詞	ある場所への行き方とそこでできることについて、英語で述べることができる
Lesson 4 A Miracle Mirror	・「天空の鏡」と呼ばれる南米ボリビアのウユニ塩原について読み、見る者に感動を与える絶景とはどのようなものであるか考える。【言語材料】不定詞	行ってみたい場所について、英語で述べることができる
Lesson 5 Leaning from the Sea	・愛媛県立長浜高等学校の生徒が、水族館部での活動を通して学んだことや将来に向けての目標を読み、自分が今関心を持っていることに目を向け、それを踏まえて将来の目標を考える。【言語材料】動名詞	将来の夢について英語で述べることができる
Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period	・江戸時代の浮世絵師、歌川国芳について取り上げ、浮世絵と現代マンガの関連性について考え、浮世絵の魅力を感じさせるきっかけとする。【言語材料】受け身	好きな絵について英語で述べることができる
Lesson 7 A Diary of Hope	・アンネ・フランクについて読み、アンネと日記との出会いやナチスの迫害を受けて隠れ家生活をするまでを理解する。【言語材料】比較表現	関心のある人物について、英語で説明することができる
Lesson 8 A Door to a New Life	・人と人をつなぐために作られたロボット“OriHime”を通して、どのようにしたら孤独とたたかう人たちが社会で活躍する機会を得ることができるか考える。 【言語材料】現在完了形	人の生活を豊かにするロボットについて考え、英語で提案することができる
Lesson 9 Fighting Plastic Pollution	・インドネシアのバリ島で、プラスチック汚染問題を解決するために立ち上がった、高校生と同世代の10代の姉妹のエピソードを通じて、身の回りの環境問題について考える機会とする。【言語材料】分詞の後置修飾	環境を守るためにできることについて、英語で述べるすることができる
Lesson 10 Pigs from across the Sea	・第二次世界大戦後の沖縄の惨状とそれを救おうとしたハワイの沖縄出身の日系アメリカ人について読み、平和と共生の大切さについて考える機会とする。また、海外の文化や社会についての理解を深め、海外との交流について関心を高める。 【言語材料】関係代名詞	海外の文化や社会に対する理解を深める活動について、英語で述べることができる

# 年間指導計画

教科・科目	家庭・家庭総合	単位数	2単位
使用教科書	家庭総合 自立・共生・創造（東京書籍）	対象学年	2年
使用副教材	とやまの高校生ライフプランガイド（富山県教育委員会）	学科・組	農業科・5組
科目の概要と目標	<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</p>		
単元	学習内容	到達度目標	
第1章 生涯を見通す 1人生を展望する 2目標を持って生きる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立した生活を営むために、生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解する。</li> <li>・生活課題に対して意思決定を行う重要性を理解し、歩みたい人生の目標を描く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> </ul>	
第6章 食生活をつくる 1食生活の課題について考える 2食事と栄養・食品 3食生活の選択と安全 4生涯の健康を見通した食事計画 5調理の基礎 6食生活の文化と知恵 7これからの食生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい食習慣を身に付け、生涯を健康に過ごすために、食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する。</li> <li>・安全で衛生的な食生活を営むために食品の選び方、保存や加工の方法、食中毒や食物アレルギー、安全を確保するための仕組みに関する知識を身につける。</li> <li>・食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身につけるために、調理や加工によりおいしさが変化するを科学的に捉える。</li> <li>・郷土食や行事食などのよいところを継承・創造するために、日本の食文化の特徴を確認する。</li> <li>・自分や家族の食生活を持続可能にすることができるようになるために、安全・環境・健康など食生活に関わる情報を適切に判断し、広い視野で食生活について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品の調理上の性質について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> <li>・食の安全について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> <li>・食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> <li>・健康や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> </ul>	
第3章 子どもと共に育つ 1命を育む 2子どもの育つ力を知る 3子どもと関わる 4子どもとの触れ合いから学ぶ 5これからの保育環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の一員として次世代を育む責任を持つために、性と生殖に関する健康について理解する。</li> <li>・子どもの発達に応じて適切に関わるようになるために、子どもが生まれつき持っている能力や心身の発達について理解する。</li> <li>・子どもが健康・快適・安全に育つ環境を整えられるようになるために、子どもの生活習慣や衣食住について理解する。</li> <li>・子どもとの触れ合いや、親や保育者と子どもの関わり方の観察など、さまざまな体験をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の健やかな発達のために親や家族及び地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> <li>・子供の健やかな発達のために地域や社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> </ul>	
第5章 共に生き、共に支える 1私たちの生活と福祉 2社会保障の考え方 3共に生きる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが生涯を通して自分の力を生かし、必要に応じて援助を得ながら安心して暮らせる社会に向けて、家族・家庭生活を支える福祉について理解する。</li> <li>・共に支え合う社会の実現に向けて、国・地方公共団体の制度などの支援体制、支え合いの構造について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> </ul>	
第8章 住生活をつくる 1住生活の変遷と住居の機能 2安全で快適な住生活の計画 3住生活の文化と知恵 4これからの住生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来に向けて自立するために、私たちの毎日の生活を支え生活拠点ともなる住居の機能やライフステージごとの住要求を理解する。</li> <li>・防災、日照、換気などに関する環境性能について理解を深め、快適かつ健康、安全な生活を行う場となる住居の条件を理解する。</li> <li>・日本の住文化の継承・創造に寄与するために、気候や風土の違い、時代の変化によって異なる世界や日本のさまざまな住文化について理解する。</li> <li>・持続可能な住居や、自助・互助・共助・公助に基づく地域コミュニティづくり、まちづくりの担い手になるために、環境に配慮した住生活について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住居の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> <li>・住居と地域社会との関わりについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> <li>・持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> </ul>	
第7章 衣生活をつくる 1被服の役割を考える 2被服を入手する 3被服を管理する 4衣生活の文化と知恵 5これからの衣生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちが被服を着用するに至った社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解する。</li> <li>・健康・快適・安全な生活を送るために被服に施されている工夫について理解する。</li> <li>・日本の衣生活の変遷や日本の衣文化に込められる知恵や技術について知り、日本の民族衣装としての和服や世界の民族衣装について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> </ul>	

# 年間指導計画

教科・科目	家庭・家庭総合	単位数	2単位
使用教科書	家庭総合 自立・共生・創造（東京書籍）	対象学年 学科・組	3年 農業科・5組
使用副教材	とやまの高校生ライフプランガイド（富山県教育委員会）		
科目の概要と目標	<p>生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。</p> <p>(2)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。</p>		
単元	学習内容	到達度目標	
<b>第4章</b> 超高齢社会を共に生きる 1 超高齢・大衆長寿社会の到来 2 高齢者の心身の特徴 3 これからの超高齢社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が生きがいを持って生活するためには、家族や地域によるどのような支援が必要か考える。</li> <li>・加齢に伴う心身の変化や高齢者の生き方や尊厳について理解を深める。</li> <li>・高齢者の自立を支えるために私たちにできる適切な支援の方法や関わり方を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の自立生活を支えるために、家族や地域及び社会の果たす役割の重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> </ul>	
<b>第2章</b> 人生をつくる 1 人生をつくる 2 家族・家庭を見つめる 3 これからの家庭生活と社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯を見通して自分のライフスタイルを考えることができるように、さまざまな生き方について理解する。</li> <li>・よりよい家庭生活を実現するために、家族・家庭と私たちの生活の結びつきを理解する。</li> <li>・誰もが家庭や地域のよりよい生活を創造できるよう、仕事と家庭の両立や家庭生活と地域の結びつきについて理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女が協力して、家族の一員としての役割を果たし家庭を築くことの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> <li>・家庭や地域のよりよい生活を創造するために、自己の意思決定に基づき、責任をもって行動することについて課題を設定し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> </ul>	
<b>第5章</b> 共に生き、共に支える 1 私たちの生活と福祉 2 社会保障の考え方 3 共に生きる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが生涯を通して自分の力を生かし、必要に応じて援助を得ながら安心して暮らせる社会に向けて、家族・家庭生活を支える福祉について理解する。</li> <li>・共に支え合う社会の実現に向けて、国・地方公共団体の制度などの支援体制、支え合いの構造について理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭や地域及び社会の一員としての自覚をもって共に支え合って生活することの重要性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> </ul>	
<b>第7章</b> 衣生活をつくる 1 被服の役割を考える 2 被服を入手する 3 被服を管理する 4 衣生活の文化と知恵 5 これからの衣生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちが被服を着用するに至った、社会的・文化的背景と被服の多様な機能や特徴について理解する。</li> <li>・健康・快適・安全な生活を送るために被服に施されている工夫について理解する。</li> <li>・日本の衣生活の変遷や日本の衣文化に込められる知恵や技術について知り、日本の民族衣装としての和服や世界の民族衣装について理解する。</li> <li>・全ての人が健康・安全・快適な衣生活を営むためのユニバーサルデザインの被服について理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> <li>・被服の機能性や快適性について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> <li>・持続可能な社会を目指して主体的に行動できるよう、安全で安心な生活と消費について課題を設定し、解決策を構想し根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> </ul>	
<b>第6章</b> 食生活をつくる 1 食生活の課題について考える 2 食事と栄養・食品 3 食生活の選択と安全 4 生涯の健康を見通した食事計画 5 調理の基礎 6 食生活の文化と知恵 7 これからの食生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分や家族が健康に過ごす食生活に役立てるために、栄養素の種類と機能や食品の栄養的特質や調理性について、科学的な理解を深める。</li> <li>・安全で衛生的な食生活を営むために食品の選び方、保存や加工の方法、食中毒や食物アレルギー、安全を確保するための仕組みに関する知識を身につける。</li> <li>・食生活の自立に必要な調理の知識と技術を身につけるために、調理や加工によりおいしさが変化することを科学的に捉える。</li> <li>・郷土食や行事食などのよいところを継承・創造するために、日本の食文化の特徴を確認する。</li> <li>・自分や家族の食生活を持続可能にすることができるようになるために、広い視野で食生活について考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品の調理上の性質について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> <li>・食の安全について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> <li>・食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> <li>・健康や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> </ul>	
<b>第9章</b> 経済生活を営む 1 情報の収集・比較と意思決定 2 購入・支払いのルールと方法 3 消費者の権利と責任 4 生涯の経済生活を見通す 5 家計をマネジメントする 6 これからの経済生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現代の消費生活における意思決定の重要性と情報の活用について理解する。</li> <li>・販売方法や支払い方法が多様化する中で、契約の重要性について理解する。</li> <li>・消費者問題を予防し適切に対応できるよう、消費者保護制度について理解する。</li> <li>・生涯安定した経済生活を営めるように、経済的自立の重要性や生涯を見通した働き方について理解する。</li> <li>・生涯を見通して家計をマネジメントする力をつけるため、家計の構造やリスクを踏まえた金融資産のマネジメントについて理解する。</li> <li>・大きく変化する世界経済の中で家計をマネジメントする力をつけるため、家計と地域経済・国民経済・国際経済のつながりについて理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動できるよう、責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> <li>・生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について、ライフステージごとの課題や社会保障制度などと関連付けて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</li> </ul>	

年間指導計画（書式）

教科・科目	農業・農業と情報	単位数	2単位
使用教科書	農業と情報（実教出版）	対象学年 学科・組	1年 農業科・5組
使用副教材	全商情報処理検定テキスト3級（実教出版）		
科目の概要と目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業に関する情報を主体的に活用するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
単元	学習内容	到達度目標	
第1章 私たちの生活と農業の情報化	1 情報社会における私たちの生活 2 情報とメディア 3 情報社会とモラル 4 農業を支える情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データと情報，意思決定の過程と情報社会の発展について理解する。</li> <li>・データと情報，意思決定の過程と情報社会の発展について理解する。</li> <li>・メディアリテラシーを身に付ける必要性を理解する。</li> <li>・情報化社会の光と影について考えるとともに，SNSの使い方や，個人情報の取り扱い，知的財産権の保護，モラルについて考える。</li> <li>・農業の情報化の発展とデータ収集の大切さについて理解する。</li> </ul>	
第2章 社会を支えるコンピュータ	1 コンピュータのしくみ 2 データや情報の表現 3 情報通信ネットワーク 4 インターネットのしくみ 5 情報セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハードウェアとソフトウェアの概要をについて理解する。</li> <li>・データや情報の種類とその表現方法について理解する。</li> <li>・情報通信ネットワークのしくみと特徴について理解する。</li> <li>・インターネットの概要と検索方法について理解するとともに，電子メールを適切に利用することができる。</li> <li>・情報社会の脅威と情報管理の重要性について理解する。</li> </ul>	
第3章 コミュニケーションと情報デザイン	1 情報表現のためのソフトウェア 2 文書の作成と表現 3 データの集計と視覚化 4 データベースシステムとオープンデータ 5 画像・図形処理ソフトウェアの利用 6 プレゼンテーション 7 情報発信 8 問題解決の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を活用するソフトウェアについて理解する。</li> <li>・文章作成ソフトウェアを利用して文書を作成できる。</li> <li>・表計算ソフトウェアを利用してデータの処理とグラフ作成等の視覚化ができる。</li> <li>・データベースソフトウェアの特徴と機能を理解し，データを活用することができる。</li> <li>・画像図形処理・動画編集等のソフトウェアを利用して基本的な画像処理・動画編集を行うことができる。</li> <li>・プレゼンテーションソフトウェアを利用して基本的なプレゼンテーションを行うことができる。</li> <li>・基本的なHTMLのタグを理解し，簡単なWebページを作成することができる。</li> <li>・問題解決と情報利用の方法，アイデアなどを引き出す思考技術について理解する。</li> </ul>	



年間指導計画（書式）

教科・科目	農業・農業と情報		単位数	1 単位
使用教科書	農業情報処理（実教出版）		対象学年 学科・組	2年 農業科・5組
使用副教材	全商情報処理検定テキスト3級（実教出版）			
科目の概要と目標	社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解させ、情報処理に関する知識と技術を習得させるとともに、農業の各分野で情報及び情報手段を活用する能力と態度を育てる。			
単元	学習内容	到達度目標		
第2章 社会を支えるコンピュータ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データや情報の表現</li> <li>・情報通信ネットワーク</li> <li>・インターネットのしくみ</li> <li>・情報セキュリティ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データと情報、意思決定の過程と情報社会の発展について理解する</li> <li>・メディアリテラシーを身につける必要性を理解する</li> <li>・情報化社会の光と影について考えるとともに、SNSの使い方や個人情報の取り扱い、知的財産権の保護、モラルについて考える。</li> </ul>		
第3章 コミュニケーションと情報デザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報表現のためのソフトウェア</li> <li>・データの集計と視覚化</li> <li>・プレゼンテーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々なアプリケーションソフトウェアの演習を通して、実際の情報処理の過程を理解する。</li> <li>・表計算ソフトを用い、簡単な表計算の方法・関数を用いて実際に表計算できるようになる。</li> <li>・プレゼンテーションソフトを用い、アニメーション効果やスライドを聴衆に見やすく作成できる能力を身につける。</li> <li>・テーマの設定に対応し、自分たちの伝えたい内容をプレゼンできる能力を身につける。</li> </ul>		
第4章 スマート農業への展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマート農業のめざす将来</li> <li>・リモートセンシングとGIS</li> <li>・人工知能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの生活と情報システムがどのような関わりをもっているか理解する。</li> <li>・農業における情報システムについて実践例などを通じて学ぶ。</li> <li>・人工知能の概要や農業における利用例およびロボット農機について理解する</li> </ul>		
第5章 農業情報の分析と活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業情報の収集と分析</li> <li>・環境に関する情報の分析と活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農村と情報通信メディアの関わりについて学ぶ。</li> <li>・農業の各分野における情報の活用について、生産・出荷・販売における実践例から理解を深める。</li> <li>・森林情報と調査について、森林のもつ二酸化炭素吸収能力などを例に調査方法やデータ収集について学ぶ。</li> <li>・環境と情報がどのような関わりをもつか調べる。</li> </ul>		
第6章 農業学習と情報活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業学習とプロジェクト学習</li> <li>・プロジェクト発表と情報発信</li> <li>・データの視覚化と分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科目「課題研究」において、生育調査や観察・実験等で収集したデータを表計算ソフトやワープロソフトでまとめ、プレゼンテーションソフトにグラフや文字を挿入し活用できる能力を身につける。</li> <li>・自分たちで作成したプレゼンテーションのデータに合うように、発表原稿をつくりグループで発表できる能力を身につける。</li> <li>・発表会にて、仲間の発表した内容を互いに評価しデータの改善を行うことができる。</li> </ul>		

年間指導計画

富山県立入善高等学校

教科・科目	農業・農業情報処理	単位数	2単位
使用教科書 副教材	農業情報処理 (実教出版)	対象学年 学科・組	3年 農業科・5組

科目の概要 と目標	社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解させ、情報処理に関する知識と技術を習得させるとともに、農業の各分野で情報及び情報手段を活用する能力と態度を育てる。
--------------	---

学習項目・内容 (単元・章・節など)	到達度目標
第3章 コンピュータによる 情報の活用 ・表計算ソフトウェアの利用 ・プレゼンテーションソフト ソフトウェアの利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表計算ソフトを用い、簡単な表計算の方法・関数を用いて実際に表計算できるようになる。</li> <li>・プレゼンテーションソフトを用い、アニメーション効果やスライドを聴衆に見やすく作成できる能力を身につける。</li> <li>・テーマの設定に対応し、自分たちの伝えたい内容をプレゼンできる能力を身につける。</li> </ul>
第4章 情報システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの生活と情報システムがどのような関わりをもっているか理解する。</li> <li>・農業における情報システムについて実践例などを通じて学ぶ。</li> <li>・データベースの利用について課題研究等で収集したデータを元に操作できるようになる。</li> </ul>
第5章 農業情報および森林 ・環境情報の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農村と情報通信メディアの関わりについて学ぶ。</li> <li>・農業の各分野における情報の活用について、生産・出荷・販売における実践例から理解を深める。</li> <li>・森林情報と調査について、森林のもつ二酸化炭素吸収能力などを例に調査方法やデータ収集について学ぶ。</li> <li>・環境と情報がどのような関わりをもつか調べる。</li> </ul>
第6章 プロジェクト発表と 情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科目「課題研究」において、生育調査や観察・実験等で収集したデータを表計算ソフトやワープロソフトでまとめ、プレゼンテーションソフトにグラフや文字を挿入し活用できる能力を身につける。</li> <li>・自分たちで作成したプレゼンテーションのデータに合うように、発表原稿をつくりグループで発表できる能力を身につける。</li> <li>・発表会にて、仲間の発表した内容を互いに評価しデータの改善を行うことができる。</li> </ul>

年間指導計画（書式）

教科・科目	課題研究	単位数	2単位
使用教科書		対象学年 学科・組	2年 農業科・5組
使用副教材			
科目の概要と目標	農業に関する課題を自ら設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。		
単元	学習内容	到達度目標	
第1章 課題の設定と計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体ガイダンス</li> <li>研究課題の設定</li> <li>研究方法と年間計画の立案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題研究の学習法について理解する。</li> <li>これまでの農業学習や過去の先輩の記録、地域農業の課題を調査するなどして、自らが興味関心のある研究テーマを決定することができるようになる。</li> <li>自分の研究テーマについて、具体的な内容や方法、期間、場所など考え、計画を立案する。</li> </ul>	
第2章 研究の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題研究の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画に基づいて研究や実験に取り組むことができるようになる。</li> <li>研究で調査したことなどを記録して保管することができるようになる。</li> </ul>	
第3章 課題研究のまとめと自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>まとめ</li> <li>課題研究中間報告書の作成</li> <li>自己評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>取り組んできた活動記録を基に研究結果をまとめる能力を身につける。</li> <li>表計算ソフトを用いて数値等を処理し、ワープロソフトを用いて中間報告書を作成し、提出することができるようになる。</li> <li>取り組みの内容と結果から、研究についての自己評価を行う能力と態度を身につける。</li> </ul>	
第4章 学習成果の発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>中間研究発表会の準備</li> <li>次年度への計画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中間報告書を基に、1年間を通して取り組んできた研究結果を表計算ソフトやワープロソフトを用いてまとめ、研究報告書を作成する。プレゼンテーションソフトを用いて中間研究報告をすることができるようになる。</li> <li>1年間の取り組みによる結果を考察した評価や反省を基に、3年次で取り組む課題研究計画書を作成する。</li> </ul>	

年間指導計画（書式）

教科・科目	課題研究	単位数	2単位
使用教科書		対象学年 学科・組	3年 農業科・5組
使用副教材			
科目の概要と目標	農業に関する課題を自ら設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。		
単元	学習内容	到達度目標	
第1章 課題の設定と計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体ガイダンス</li> <li>研究方法と年間計画の立案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題研究の学習法について理解する。</li> <li>2年次の年度末に作成した課題研究計画書を基にして、1年間の具体的な内容や方法、期間、場所など考え、計画を立案する。</li> </ul>	
第2章 研究の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題研究の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画に基づいて研究や実験に取り組むことができるようになる。</li> <li>研究で調査したことなどを記録して保管することができるようになる。</li> </ul>	
第3章 課題研究のまとめと自己評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>まとめ</li> <li>課題研究中間報告書の作成</li> <li>自己評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>取り組んできた活動記録を基に研究結果をまとめる能力を身につける。</li> <li>表計算ソフトを用いて数値等を処理し、ワープロソフトを用いて中間報告書を作成し、提出することができるようになる。</li> <li>取り組みの内容と結果から、研究についての自己評価を行う能力と態度を身につける。</li> </ul>	
第4章 学習成果の発表	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題研究要録集の作成</li> <li>課題研究発表会への準備</li> <li>課題研究発表会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中間報告書を基に、1年間を通して取り組んできた研究結果を表計算ソフトやワープロソフトを用いてまとめ、要録集原稿を作成する。</li> <li>自分たちの研究結果をまとめ、プレゼンテーションソフトを用いて研究報告をすることができるようになる。</li> <li>研究結果をわかりやすく発表する。</li> </ul>	

年間指導計画（書式）

教科・科目	農業・農業と環境		単位数	4 単位
使用教科書	農業と環境（実教出版）		対象学年 学科・組	1年 農業科・5組
使用副教材				
科目の概要と目標	農業学習の特質である農業生物の育成についての体験的、探究的な学習を通して、農業に関する基礎的な知識と技術を習得させ、農業及び農業学習についての興味・関心を高める。			
単元	学習内容	到達度目標		
第1章 農業と環境を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業、環境学習とは何か</li> <li>・農業と環境の学び方</li> <li>・学校農業クラブ活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業学習の特質を理解する。</li> <li>・プロジェクト学習を農業学習に生かすことができるようになる。</li> <li>・学校農業クラブの目的と内容を理解する。</li> </ul>		
第2章 私たちの暮らしと農業農村	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間と植物・動物とのかわり・農業と食料供給</li> <li>・農業と農村の役割</li> <li>・これからの社会と農業・農村</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農耕地の生態系の特徴と役割について理解する。</li> <li>・作物のからだをつくる養分と役割について理解する。</li> <li>・世界における農業の移り変わりを学ぶ。</li> <li>・わが国の農業技術とそれを支える自然環境を理解する。</li> <li>・食品産業の現状を学ぶ。</li> <li>・農業が環境保全に果たす役割を理解する。</li> </ul>		
第3章 栽培と飼育の基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作物の特性と栽培のしくみ</li> <li>・作物をとりまく環境とその管理</li> <li>・家畜の特性と飼育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作物栽培と環境との関係について理解し、広い視野で栽培環境を学ぶ。</li> <li>・気象・土壌・生物環境について理解する。</li> <li>・家畜に関する基礎知識を身につけ、家畜の飼育と環境の関係を結びつけて理解する。</li> </ul>		
第4章 栽培と飼育のプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イネの栽培と利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イネの生育過程を理解する。</li> <li>・本田の準備から管理作業ができるようになる。</li> <li>・病気・害虫の防除の基本的な考え方について理解する。</li> <li>・収穫適期が判定できるようになる。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大豆の栽培と利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダイズの生育過程を理解する。</li> <li>・畑の準備から管理作業ができるようになる。</li> <li>・収穫適期が判定できるようになる。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トウモロコシの栽培と利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トウモロコシの生育過程を理解する。</li> <li>・畑の準備及び種まきの方法を理解する。</li> <li>・たねまき後の管理作業ができるようになる。</li> <li>・病気・害虫の防除の基本的な考え方について理解する。</li> <li>・収穫適期が判定できるようになる。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダイコンの栽培と利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダイコンの生育過程を理解する。</li> <li>・畑の準備及び種まきの方法を理解する。</li> <li>・たねまき後の管理作業ができるようになる。</li> <li>・収穫適期が判定できるようになる。</li> </ul>		